

## 6月25日のウクライナ情報

安齋育郎

### ① NATO は子供達にロシアと中国を憎むように教える為の漫画を使っている(2024年6月19日)

<https://x.com/i/status/1803424143364464916>



<https://x.com/Reloaded7701/status/1803424143364464916?s=09>

### ② ウクライナの戦車でロシアに逃亡したウクライナ兵士のマキシム・リハチェフは、ロシア国籍を申請した。彼はウクライナに戻る予定はない(2024年6月20日)

「盗まれたウクライナの戦車は、彼のロシアのパスポート申請にとって大きな後押しとなる。」

<https://x.com/i/status/1803688968648794565>



[https://x.com/yakiimo\\_2022/status/1803688968648794565?s=09](https://x.com/yakiimo_2022/status/1803688968648794565?s=09)

### ③ 「ウクライナ侵攻は西側が誘発」、英右派党首の持論に批判噴出(6/24)

※安齋注:私はそれが右派によるものであるにせよ、「ウクライナ戦争が西側が誘発した結果起こったものであること」は事実に沿った指摘だと思います。

【ロンドン 22日 ロイター】 - 英右派政党「リフォームUK」のナイジェル・ファラージ党首はBBCで21日放送されたインタビューで、プーチン・ロシア大統領によるウクライナ侵攻は欧州連合(EU)と北大西洋条約機構(NATO)の東方拡大が誘発したと主張した。

リフォームUKは7月4日の総選挙で数百万票を獲得する見込みだが、この発言には英政界全体から批判が噴出した。

ファラージ氏は2022年2月のウクライナ侵攻直後、「EUとNATOの拡大の結果」だとソーシャルメディアに投稿していたが、今回の発言もそれを堅持するものと説明。

14年にはこの戦争を予想していたとし、「私にはNATOとEUの東方拡大がプーチン氏に『またわれわれを狙っている』と国民に訴えて開戦理由を与えているのは明白だった」と指摘。さらに「もちろん同氏に否があるが、この戦争を誘発したのはわれわれであり、プーチン氏はわれわれの行動を口実にした」と主張した。

これに対しスナク首相は、ファラージ氏が「完全に間違っている」と述べ、同氏の融和政策が英国と同盟国の安全保障を危険にさらしたと糾弾した。

労働党のジョン・ヒーリー国防担当報道官は、ファラージ氏の発言は恥ずべきものとし、同氏を「プーチン擁護者」と非難した。



英右派政党「リフォームUK」のナイジェル・ファラージ党首はBBCで6月21日放送されたインタビューで、プーチン・ロシア大統領によるウクライナ侵攻は欧州連合(EU)と北大西洋条約機構(NATO)の東方拡大が誘発したと主張した。3日、ロンドンで撮影(2024年 ロイター/Maja Smiejkowska)

<https://news.yahoo.co.jp/articles/970c97406eb822a2d980be73ad5f6d95f432475f/images/000>

#### ④与党の「負けっぱり」焦点 支持率3位の調査も 英総選挙、投票まで2週間(2024年6月21日)

【ロンドン時事】英下院(定数650)総選挙は、7月4日の投票まで2週間で切った。

支持率低迷からの逆転を狙い解散に打って出たスナク首相だが、与党・保守党に劣勢挽回の兆しは見えない。最大野党・労働党の政権奪取はもはや動かないとして、保守党がどれほど負けるかに焦点

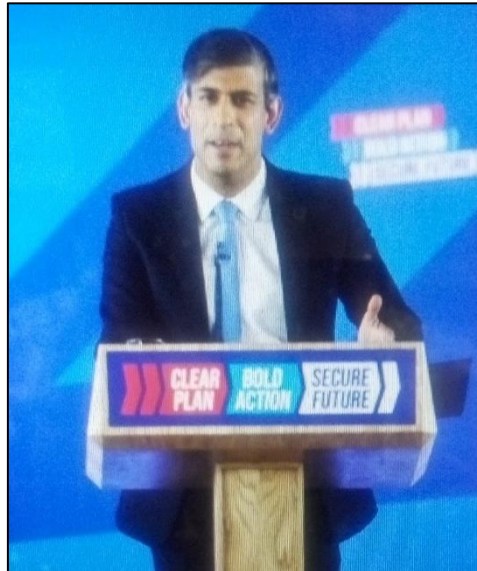
が移っている。

調査会社ユーガブが今月 12～13 日に実施した支持率調査によると、右派ポピュリスト政党「リフォーム UK」が 19%と主要調査で初めて 2 位となり、18%の保守党は 3 位に転落した。労働党は 37%。19 日に発表された最新の調査結果では、労働党が定数の 3 分の 2 に迫る 425 議席を獲得すると予想されている。

リフォーム UK のファラージ党首は「われわれが今や労働党に対抗する真の野党だ」と強調する。一方、保守票が割れることを懸念するスナク氏は、世論調査結果が現実になれば「労働党に増税の白紙小切手を渡すことになる」と訴えた。

とはいえ、保守党低迷の責任はスナク氏にもある。同氏は 6 日、フランス北部で行われた第 2 次大戦のノルマンディー上陸作戦 80 年の記念式典を早退。テレビインタビューを受けるために帰国し、国内で大きな批判を浴びた。翌日には「フランスに残らなかったのは間違いだった」と、選挙戦のさなかに異例の謝罪に追い込まれ、BBC 放送は「驚くべきオウンゴール」と報じた。

保守党にとって「悪夢のシナリオ」として浮上しているのが、1993 年のカナダ総選挙の再現だ。支持率が落ちていた与党の進歩保守党(当時)は、同選挙でわずか 2 議席に落ち込む惨敗。英国はカナダと同様に小選挙区制で、スナク氏が懸念するようにリフォーム UK と保守票を食い合えば、激戦区で労働党が漁夫の利を得て、保守党は壊滅的打撃を被る可能性もある。



<https://news.yahoo.co.jp/articles/0d5793248c8f9d11db1ef89526c353db8a63a5ce/images/000>

## ⑤ 北朝鮮、米のウクライナ支援批判 「ロシアとの全面的な衝突に」(2024年6月24日)

【北京共同】北朝鮮の朴正天・朝鮮労働党中央軍事委員会副委員長は 24 日、ロシアが侵攻するウクライナに対して米国が軍事支援を続けていることを談話で批判した。「ロシアとの全面的な軍事衝突、新たな世界大戦につながる」とし、米国の支援強化をけん制した。朝鮮中央通信が伝えた。

党中央軍事委の副委員長の談話は異例。金正恩党総書記は 19 日にロシアのプーチン大統領と有事の軍事援助を明記した「包括的戦略パートナーシップ条約」に署名し、批准に向けた手続きが今後進



められる見通しで、口朝は軍事分野の結び付きをさらに強めている。



<https://news.yahoo.co.jp/articles/10ad124e81cf54ec6c8f320f16fd41e34a1d5c2e/images/000>

## ⑥ ウクライナへの兵器支援「ロシアの態度いかん」=韓国高官(2024年6月23日)

ソウル聯合ニュース】韓国大統領室の張虎鎮(チャン・ホジン)国家安保室長は 23 日、ウクライナに対する兵器支援を再検討するとの方針について、「ロシアが高度な精密武器を北朝鮮に提供すれば、われわれにこれ以上どんなライン(制約)があるのか」と述べた。

KBS の時事番組に出演して発言したもので、ロシアが北朝鮮に先端兵器を提供する場合、韓国政府もウクライナに制限なく兵器を供給できるとの意味と受け止められる。

ただ、ウクライナに提供する兵器の種類については具体的な言及を避け、「ロシアが今後、どのように出るかによって、ウクライナに対するわれわれの武器支援が異なってくる」と強調した。

これまで韓国はロシアが侵攻を続けるウクライナに対して殺傷兵器の供給などの支援は行わないとの立場を堅持してきたが、北朝鮮とロシアが「包括的戦略パートナーシップ条約」を締結したことを受け、韓国はこの方針を見直すとした。



<https://news.yahoo.co.jp/articles/59afc34374336c182fa08c608fb070d4d349a759/images/000>

## ⑦フランス・マクロン大統領の決断は第3次世界大戦を招くか、6月30日に総選挙・ロシア派兵の意思は(2024年6月23日)



2024年6月9日に欧州議会(EU議会、EU加盟国で選ばれた議員で構成される議会)の選挙が行われた。下馬評通り、右派勢力が台頭した。とりわけ大きな躍進を遂げたのは、フランスのバルデラ率いる極右勢力であった。

とはいえ、27カ国の選挙の結果を見るかぎり、全体の勢力図がそれほど変わったというわけではない。

### ■マクロンに痛手となったEU議会選挙

EU議会を構成する政党は、各国の政党が国家の枠を超えて結ぶグループによって構成されている。最も多い議席数を持つ政党はEPP(欧州人民党)で、むしろ議席数を8議席伸ばしている。

この政党はフランスの共和主義者とドイツのキリスト教民主同盟(CDU)などが参加する政党だが、2つの政党ともに今政権を握ってはいない。

次に大きな政党は社会民主進歩同盟(S&D)で、フランスでは社会党、ドイツでは社会民主党。ドイツでは政権党であるが、フランスではそうではない。この政党の議席数は変わらず、変化なしである。

一方、大幅に議席を減らしたのは欧州刷新(RE、Renew)で、22議席減の80議席。ドイツでは中道の自由民主党、フランスはマクロンの支持母体ともいえる「再生」党のグループだ。マクロンが大きな痛手を被ったというのは、この政党が議席を減らしたからである。

話題のフランスの極右党が入っているのは、アイデンティティと民主主義(ID)だが、9議席増の58議席であった。ここにはドイツのための選択肢(AfD)も入っている。いわゆる極右グループといわれる政党だが、たいして増えたわけではない。

しかし、とりわけフランスでこのグループが投票率1位に躍進したことが重要だ。フランスで31%は極右の国民連合(Rassemblement National)(バルデラ代表)に流れ、12議席増の30議席となった。

しかも、極右への投票率の流れだけでなく、4位は極左政党の不服従のフランス(LFI、メランション代表)で、政権党のマクロンの「再生」は極右と極左に挟まれ、さらに保守党に押されたという結果となったのだ。

この躍進がショッキングなニュースとして飛び込んできた。だからこそ、マクロン大統領は、その日のうちにフランス国民議会の解散を宣言し、6月30日(第1回投票)に総選挙を行うと決意表明を行ったのである。

フランス憲法12条では、首相と議長の了解を得て、大統領が議会を解散できることになっている。

## ■フランス大統領と国民議会の関係

フランス・ストラスブールにある EU 議会は、ベルギー・ブリュッセルの EU 理事会(各国首脳などによって構成される執行委員会)と並ぶ EU の柱だ。

しかし、執行部である EU 理事会は、各国首脳であるがゆえに、大統領や首相の意思が反映する。大統領の意思と EU 議会は、少なくともフランスにおいてはギクシャクすることになったことは間違い無い。

EU 議会で敗北したからといって、それがそのままフランス国民議会に反映されるわけではない。国民議会はフランスの地方選挙で選ぶ議会であり、その投票形式はまったく違う。

しかし 2 年前、大統領選挙後の総選挙でマクロン支持の政党は多数派を取れなかったこともあり、この 2 年間、大統領と議会との関係はつねに対決状態であった。今回の結果はそれを反映したといってもいいかもしれない。

とすると、マクロンは民意を尊重して国民議회를解散しようということなのであろうか。いやそうではあるまい。

議会選挙は比例全国区ではなく地方区からなる選挙であり、2 回目の最終決戦投票で無難な政党が選ばれる可能性が高い。極右政党や極左政党が勝つ可能性は少ないともいえる。それをにらんだうえでの解散だということだろう。

フランスといえば、フランス革命以来、立法議会と行政権力(首相や大統領)が対立してきた長い歴史がある。この対立の中で議会を強くするか、行政権力を強くするかで憲法は変わってきた。

1958 年から始まる現在の第五共和制(1958 年～現在)は、第四共和政(1946～1958 年)の行政権力を強化することで始まった。

それによって生まれたドゴール政権(1959～1969 年)は、独裁色を強め、1968 年に学生と市民による 5 月革命事件が起こる。1969 年 4 月、ドゴール大統領は国民投票によって憲法改正を問い、結局敗北し辞任することになった。

またシラク大統領(1932～2019 年、大統領在任期間は 1995～2007 年)が、EU 憲法批准を国民投票にかけて、失敗した例もある。

## ■マクロンは「ミニ・ナポレオン」か

もちろん、1936～1938 年の人民戦線内閣のレオン・ブルム(1872～1950 年)のように反ナチズム、反ファシズムを掲げ勝利した例もある。いずれにしろ、マクロンは先達の例を気にしながらことを進めなければならないはずだ。

何といっても思い出されるのが、ルイ・ナポレオン(ナポレオン 3 世、1808～1873 年)の場合だ。マクロンは、現代版ナポレオンともいえる。マクロンもそれを意識しているはずだ。

すでに大統領を 2 期務めているマクロンにとって 3 期目はない。彼の気持ちは、1 期しか認められていなかったルイ・ナポレオンの気持ちに重なるともいえる。

ルイ・ナポレオンの伯父、大ナポレオンであるナポレオン・ボナパルト(ナポレオン 1 世、1769～1821 年)は 1799 年 11 月 9 日、革命暦ブリュメールの 18 日、執行権を独り占めにすべくクーデターを起した。

クーデターが成功した後、やがて第一帝政(1804～1815 年)を施行し皇帝に上りつめる。議会や憲法を踏みにじて、独裁権力を獲得したのだ。ナポレオン神話の始まりである。

ルイ・ナポレオンは伯父のことが忘れられず、大統領再任を憲法に阻まれた。そのため憲法を踏みこじめるべく、1851年12月2日にクーデターを起して第二帝政(1852~1870年)を施行し、皇帝へと上り詰める。伯父と同じことを行ったのだ。だから、ヴィクトル・ユゴーはルイ・ナポレオンを小ナポレオンと呼んだ。

この光景を見ていたカール・マルクスは、有名な文章から始まる『ルイ・ボナパルトのブリュメール18日』(1852)という作品を書いた。

「ヘーゲルはどこかで、すべての偉大なる世界的事象と人物は、いわば二度出現すると述べている。彼は、つぎのことを付加することを忘れていた。それは、一度目は、悲劇として、二度目は、茶番劇として出現するということである。——人間は自らの歴史をつくるのだが、自ら選んだ自由な断片からつくるのではなく、直接に依存している、伝統的な、与えられた状況のもとでつくるのである。死せるあらゆる世界の伝統は、生きているものの額の上に、悪夢のようにのしかかる」

ルイ・ナポレオンは、これによって皇帝としてフランスにそれ以後20年近く居座ることになる。クーデターは確かに成功したのだが、大ナポレオンのように神話になることはなかった。だから小ナポレオンなのである。

### ■マクロンの「ロシア派兵」

もちろんこれが茶番であったのかどうかについては議論が分れるところだが、少なくとも大ナポレオンに比べ、小ナポレオンであるナポレオン3世の方が偉大なる人物だと思うものはおそらく1人もいないだろう。

何事も二番煎じは評判が悪い。小ナポレオンも大ナポレオンのように普仏戦争(1870~1871年)、3回にわたるイタリア独立戦争(1848~49、1859、1866年)、アメリカ・メキシコ戦争(1846~1848年)、クリミア戦争(1853~1856年)と戦争に明け暮れたことは確かである。ただ、これらの戦争を偉大なるフランス革命の成果であると評価するものはいない。

ミニ・ナポレオンともいえるマクロン大統領も、大ナポレオンよろしく自由と民主主義のためにウクライナ戦争へ参戦しようという計画をもっているようだ。大ナポレオンが行ったように、本当にロシア戦線へ参加するのか。

しかし、国民の多くはこれを認めてはいない。ことごとく議会と対立している現状では、その実現の可能性はない。しかも、残り在任期間は3年である。

任期後は私人に戻るしかない。民主主義社会では大統領は終身ではないし、皇帝になることもできない。確かに八方塞がりなのだ。まさか3度目の正直、すなわちクーデターを計画しているわけでもあるまい。

### ■マクロンの決断で世界が揺れる

反極右戦線を糾合しようにも、今のところ左派の結集すらも難しいかもしれない。また旧来の左派(社会党)と右派(共和主義者)もマクロンを見放すかもしれない。そうなると、解散前により大幅に議席を減らすこともありうるだろう。

しかし、マクロンは登場したときから策士であると言われ続けてきた。マジシャンともいわれていた。彼にはどんな秘策が隠されているかはわからないところが、いよいよもってナポレオンに酷似しているのだ。

ドゴールの道を歩むのか、レオン・ブルムとなるのか。マクロンはたんなる小さなアリにすぎないのか、

それともライオンなのか。選挙の結果が気になるところである。

もちろん、この選挙はマクロンの権力維持の問題にとどまらない。下手をすると好戦的な人物であることで、第3次世界大戦のきっかけをつくった人物としてその名を永久に残すことになるかもしれない。

これはたんなるフランスの議会選挙だが、世界はその結果に注目しなければならないだろう。

的場 昭弘 :神奈川大学 名誉教授

## ⑧OSCE はなぜ黙っている？ ザハロワ氏が西側支配下の国際機関を糾弾(2024年6月23日)

ウクライナ軍の攻撃でセヴァストポリの民間人に多大な犠牲者が出たことについて、ロシア外務省のマリア・ザハロワ公式報道官は、「OSCE(欧州安全保障協力機構)は黙っている。OSCEは機構としても、機関としても信用を完全に失墜させた。OSCEの人権委員はどこにいるのか？」と同機関を激しく糾弾する声明を表した。

ザハロワ氏は、欧州安全保障協力機構(OSCE)がこれまでロシア人ジャーナリストの殺害事件を無視し続けてきたことを指摘した。

こうした一方で、ユネスコの子どもの権利に関する報告書には、学校での些細な喧嘩やいじめまで拾っている。

「なぜドンバスやロシアの新編入地域の子どもたちが味わった苦しみや、ウクライナ政権が子どもたちを苦しめていることへの報告が一つもないのか？ 残念なことに、これらの(国際的な)組織はこの方向(編集:ウクライナの児童犯罪)に完全に参与しており、もはや国際組織ではなく、西側の手中にある道具だからだ」

ザハロワ報道官は、ロシア外務省はこうした現状に屈することなく、これらの組織からの反応を求めていく覚悟を表した。

「我々は、国際社会がウクライナ政権の新たな犯罪を警戒するよう、あらゆる手段を講じる。ロシア外務省はこれまで以上に執拗に努力を続けることを保証する」



<https://sputniknews.jp/20240623/osce--18687361.html>



## ㊟ 露国防省 宇軍のセヴァストーポリ攻撃について声明発表(以下、関連する Sputnik 情報、2024 年 6 月 23 日)

ウクライナは6月23日、クラスター弾を搭載した弾道ミサイルでセヴァストーポリ特別市のビーチを攻撃。これにより、幼児を含む3人が死亡、負傷者数は100人に上った。

同市のミハイル・ラズヴォジャエフ知事はロシア正教の重要な祝日「三位一体祭」のこの日にウクライナ軍がセヴァストーポリの民間人を狙って ATACMS で攻撃したことを強く糾弾している。対空防衛システムは機能したものの、クラスター弾を搭載したミサイル1発の破片が観光客や地元市民がくつろぐウチュクエフカの海岸を直撃。

ラズヴォジャエフ知事は、医療システム全体が動員され、負傷者には必要な医療支援がすべて提供されており、現場では、セヴァストーポリ検事のアンドレイ・シェフツォフ氏がすでに作業を開始したと発表している

[https://x.com/sputnik\\_jp/status/1804856959796937166?ref\\_src=twsrc%5Etfw%7Ctwcamp%5Etweetembed%7Ctwterm%5E1804856959796937166%7Ctwgr%5E40942467848adcea6e39d6dd62c3f64bffbbdef5%7Ctwcon%5Es1&ref\\_url=https%3A%2F%2Fsputniknews.jp%2F20240623%2F18687764.html](https://x.com/sputnik_jp/status/1804856959796937166?ref_src=twsrc%5Etfw%7Ctwcamp%5Etweetembed%7Ctwterm%5E1804856959796937166%7Ctwgr%5E40942467848adcea6e39d6dd62c3f64bffbbdef5%7Ctwcon%5Es1&ref_url=https%3A%2F%2Fsputniknews.jp%2F20240623%2F18687764.html)

### セヴァストーポリ攻撃で死傷者100人超 24日は「服喪の日」に(2024年6月23日)

23日、セヴァストーポリ特別市へのウクライナ軍による ATACMS ミサイル攻撃で子ども2人を含む3人が死亡、100人近くが負傷したことをめぐり、ロシア国防省が声明を発表した。米国の作戦戦術ミサイル ATACMS の飛行割り当てはすべて、米国の専門家が米国独自の衛星情報データに基づいて入力する。

セヴァストーポリの市民に対する意図的なミサイル攻撃の責任は主に、これらの兵器をウクライナに供給した米国と、攻撃がその領土から行われたキエフ政権にある。

こうした行為に対しては報復無しには済まされない。

<https://sputniknews.jp/20240623/18687764.html>

### 宇軍のセヴァストーポリ攻撃を「テロ」認定 露捜査委員会(2024年6月23日)

ロシア捜査委員会は、ウクライナによるセヴァストーポリ特別市への攻撃で、子ども2人を含む3人が死亡したことを受け、事件をテロ攻撃と認定し、刑事事件としての捜査を開始した。同捜査委員会がテレグラム・チャンネルを通じて明らかにした。

「ロシア捜査委員会の主要捜査総局は、未成年者を含む民間人を死傷させたセヴァストーポリ市へのウクライナ軍の攻撃について、ロシア連邦刑法第205条(テロ行為)に基づき、刑事事件としての捜査を開始した。ロシア捜査委員会は、事件の状況とテロに関与した人物の特定作業を開始しており、これらの者たちの行為は法の裁きを受ける」

ロシア保健省の発表では、ウクライナ軍によるセヴァストーポリ特別市への ATACMS ミサイル攻撃による負傷者数は、子ども27人を含む124人に増えている。保健省は他の地方から医師団を追

加派遣し、負傷者らの治療に当たっていると発表している。

[https://sputniknews.jp/20240623/18687651.html?rcmd\\_alg=collaboration2](https://sputniknews.jp/20240623/18687651.html?rcmd_alg=collaboration2)

### セヴァストーポリ攻撃で死傷者 100 人超 24 日は「服喪の日」に(2024 年 6 月 23 日)

セヴァストーポリ特別市へのウクライナ軍によるミサイル攻撃で 5 人が死亡、約 100 人が負傷したことを受け、クリミア共和国のセルゲイ・アクショノフ首長は、あす 24 日を全土で犠牲者を追悼する「服喪の日」とすると明らかにした。

ミサイルの破片は同市北部で最も賑わうビーチを直撃。子ども 3 人を含む 5 人が犠牲となり、ロシア全土を震撼させた。

保健省の発表によると、現時点で 124 人が負傷している。また、現在、サンクトペテルブルク市やクラスノダール地方、ロストフ州などがセヴァストーポリへの支援に手を挙げている。

<https://sputniknews.jp/20240623/10024-18687889.html>

### ザハロフ報道官 宇軍のセヴァストーポリ市民攻撃を激しく糾弾(2024年6月23日)

ロシア外務省のマリア・ザハロフ公式報道官は、ウクライナ軍が故意にロシア正教の祝日に、一般市民が多く集まるビーチを狙って攻撃したことを激しく糾弾。

「民間人死亡について、国際機関に対応を求めるが、これらの機関は西側に支配されている」

[https://x.com/sputnik\\_jp/status/1804849857418404087?ref\\_src=twsrc%5Etfw%7Ctwcamp%5Etweetembed%7Ctwterm%5E1804856959796937166%7Ctwgr%5E40942467848adcea6e39d6dd62c3f64bffbbdef5%7Ctwcon%5Es3&ref\\_url=https%3A%2F%2Fsputniknews.jp%2F20240623%2F18687764.html](https://x.com/sputnik_jp/status/1804849857418404087?ref_src=twsrc%5Etfw%7Ctwcamp%5Etweetembed%7Ctwterm%5E1804856959796937166%7Ctwgr%5E40942467848adcea6e39d6dd62c3f64bffbbdef5%7Ctwcon%5Es3&ref_url=https%3A%2F%2Fsputniknews.jp%2F20240623%2F18687764.html)

### セヴァストーポリへの ATACMS ミサイル攻撃は米国の懸念を高める(2024 年 6 月 24 日)

ウクライナ軍が ATACMS ミサイルでセヴァストーポリを攻撃し民間人が死亡したことで、米国の兵器でロシアを攻撃する許可をめぐる、米政府の懸念は再熱するだろう。英紙テレグラフ紙がこのように伝えている。

「ウクライナはこの事態についてコメントしていないが、今回の攻撃により、ロシアへの攻撃に米国の装備を使用することに関してウクライナに定めたルールの緩和について、米政府の懸念は再熱するだろう」

ウクライナはロシアの奥深くを攻撃する「さらなる自由」を望んでいるが、米政府は「これが戦争の激化につながることを懸念している」と同紙は指摘している。

露国防省によると、ウクライナ軍は 23 日、クラスター弾頭を搭載した ATACMS ミサイル 5 発でセヴァストーポリへの攻撃を試みた。最新のデータによると、テロ攻撃により子ども 2 人を含む 4 人が死亡、さらに 151 人が負傷した。また、セヴァストーポリおよびクリミア共和国で 24 日を「服喪の日」とすると発表された。

露国防省は、米国はウクライナとともに、ウクライナ軍による意図的なミサイル攻撃に責任があると非難した。

[https://sputniknews.jp/20240624/atacms-18689924.html?rcmd\\_alg=collaboration2](https://sputniknews.jp/20240624/atacms-18689924.html?rcmd_alg=collaboration2)

### セヴァストーポリ攻撃 プーチン大統領が遺族に哀悼の意(2024年6月24日)

プーチン大統領は、セヴァストーポリ特別市へのウクライナ軍の攻撃で犠牲となった人々の遺族に哀悼の意を表した。同市のミハイル・ラズヴォジャエフ知事が明らかにした。

同知事は、プーチン大統領からは攻撃のほぼ直後に電話の連絡が入っていたことを明らかにしている。

また、ラズヴォジャエフ知事は、プーチン大統領は連邦政府機関に対し、セヴァストーポリにあらゆる必要な援助を提供するよう指示し、直ちにそうした支援を乗せた飛行機がモスクワから差し向けられたと語っている。

「(負傷した)子どもたちは応急処置を受けた後、モスクワの最高の医療機関に送られる」

[https://sputniknews.jp/20240624/18687994.html?rcmd\\_alg=collaboration2](https://sputniknews.jp/20240624/18687994.html?rcmd_alg=collaboration2)

### 米と NATO による直接攻撃？スコット・リッター氏がセバストポリ攻撃について語る(2024年6月24日)

「ウクライナは都市、民間都市に対してクラスター弾を搭載した『ATACMS』ミサイルを使用した。これはテロ行為だ」。元国連大量破壊兵器廃棄査察官でスプートニク寄稿者のスコット・リッター氏が、23日にウクライナ軍がクラスター爆搭載の米国製ミサイル「ATACMS」でロシアのセバストポリを攻撃したことについてコメントした。発射された5発のうち4発は撃墜されたが、1発は飛行軌道から外れ、その弾頭がセバストポリ上空で爆発し、被害をもたらした。最新情報によると、151人が負傷、子ども2人を含む4人が死亡した。

リッター氏はまた、「ウクライナは2014年以降、ロシアの民間人に死と破壊をもたらすことを唯一の目的として、ロシアの民間施設、都市、村、町を爆撃してきた」と指摘した。

「これはテロ行為だ。また、米国の諜報機関による幅広い支援がなければウクライナが ATACMS ミサイルを配備できないことを考慮すると、これは米国によるロシアに対するテロ行為である」

[https://sputniknews.jp/20240624/nato-18691604.html?rcmd\\_alg=collaboration2](https://sputniknews.jp/20240624/nato-18691604.html?rcmd_alg=collaboration2)